やらんば！平戸

ひと（HITO）響きあう 宝島 平戸

広報ひらど

Hirado City Public Relations

赤ちゃんってかわいい！乳幼児ふれあい子育て体験
～猶興館高校～

Contents

全共に向けた取り組み・きらり情熱人 ▶02
平戸藩の秋めぐり ▶06
新たな視点 ▶08
受賞、入賞おめでとうございます ▶10
若きアスリート　平戸中学校野球部 ▶12
スケッチ＆フォトコンテスト ▶13
まちのできごと ▶14
いきいき通信⑥ ▶17
九州東アジア物語 ▶18
学びの達人 ▶19
みんなの図書館 ▶20
黒田市長体験記・HIRADOX-change ▶21
まちのひとびと ▶22
市民の声＆読者プレゼントコーナー ▶24
平戸遺産～ ▶26
平戸市からのお知らせ ▶27
情報ひろば ▶30
人口の動き・編集室からひとこと ▶32

2010 December 12 平成22年

No.063

Hirado City Public Relations

Hirado city Public Relations
2010.12No.63
広報ひらど　平成22年12月号

古紙配合の再生紙を使用しています。
大豆油インキを使用しています。

［編集・発行］平戸市市長公室　〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508番地3
■TEL／0950-22-4111(代)　FAX／0950-22-2419
■URL http://www.city.hirado.nagasaki.jp ■E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp
■印刷／有限会社ケンホクプリント

いきつきロード2011大会

潮風薫る生月の海岸線を駆け抜けよう！

参加者募集!!

2011.2.13(日)

午前10時から順次スタート

申込締切日　12月28日(火)必着

IKITSUKI ROAD 2011

番号	種目	距離	出発時刻
1	高校生男子	10km	10:00
2	一般男子(40歳未満)		
3	一般男子(40歳代)		
4	一般男子(50歳以上)		
5	共通女子		
6	高校生男子	5km	10:05
7	一般男子(40歳未満)		
8	一般男子(40歳以上)		
9	高校・一般女子(40歳未満)		
10	一般女子(40歳以上)		
11	中学2・3年生男子	3km	10:40
12	中学1年生男子		10:41
13	共通女子		10:42
14	中学1年生女子	3km	10:43
15	中学2・3年生女子		10:44
16	小学5年生男子	2km	11:05
17	小学5年生女子		11:06
18	小学6年生男子		11:07
19	小学6年生女子		11:08
20	小学4年生男子	1.5km	11:20
21	小学4年生女子		
22	小学3年生と保護者	1.5km	11:40
23	小学2年生と保護者		
24	幼児5歳以上～小学1年生以下と保護者	1.5km	11:41

申込方法

生涯学習課、教育委員会各分室、各公民館に備え付けの所定の申込用紙（払込取扱票）に必要事項を記入の上、参加料を郵便振込にて入金してください。

お問い合わせ・申込み

いきつきロード実行委員会事務局
（教育委員会生月分室内）☎53 - 0541

◎今月の表紙

10月22日、猶興館高等学校で、乳幼児ふれあい体験が、3年生26人と保護者・乳幼児の17組が参加して行われました。乳幼児と接する機会が減少しいることから、毎年開催しているそうです。最初、生徒たちは、ぎこちない様子でしたが、赤ちゃんの笑顔を見ると、「カワイイ」という声が次々と聞こえてきました。

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%
平戸市役所も参加しています。

◎人口の動き

■平戸市人口／36,355人（－40）
男性／17,034人（－12）
女性／19,321人（－28）
■世帯数　14,414戸（－14）
※（）は、前月との比較
平成22年11月1日現在

Editorial

編集室からひとこと

九州大会に出場した平戸中学校野球部を取材のため、伺いました。練習では、部員みんなで大きな声をだして練習している姿を見て、本当に楽しく、一生懸命に野球に打ち込んでいる気持ちが伝わってきました。その気持ちが九州大会での善戦に現れているのだと思います。大会前の貴重な練習時間にもかかわらず取材にご協力いただいた部員のみなさん、本当にありがとうございました。（小）

新たなコーナーとして、地域産業を支える人たちをクローズアップする「きらり情熱人」をスタートしました。今回は、牛の繁殖農家で、グランドチャンピオンの栄冠に輝いた、大橋さんと池田さんを紹介しました。お二人とも、優秀な牛を生産するために、研究と努力を惜しまず、情熱を持って取り組んでいることが、感じられました。今後も、2年後の全国大会に向けての活躍を祈っています。（藤）

平成22年度　ながさき牛づくり振興大会（プレ全共）で平戸の代表牛が
グランドチャンピオンの栄冠に！

▲大会には、多くの関係者が集まって審査が行われた。

▲大会での好成績を市長に報告する出品者のみなさん

10月27日、県南家畜市場（雲仙市）において、「平成22年度ながさき牛づくり振興大会（プレ全共）」が、各地区の代表牛を集めて開催されました。この大会は、平成24年度に開催される「第10回全国和牛能力共進会長崎県大会」に向けて長崎和牛の上位入賞に向けた取り組みの一環として実施されました。

各地区から45頭が出品され、体の発育やバランスなどさまざまな項目を審査。平戸市からの代表牛は、グランドチャンピオンに輝くなど優秀な成績を収め、各地区対抗で競われる団体の部での県北支所の優勝にも大きく貢献しました。

成　　績　※グランドチャンピオンは、第1区から第4区の優等賞の中から選ばれる。

出　品　区	成　績	出品牛名号	出　品　者	
第1区　若雌の1	1　等　賞	はつふじ号	川下　博文（大島村的山川内）	
第2区　若雌の2	1　等　賞	第24さち号	美野田　助作（根獅子町）	
第3区　繁殖雌牛群	優　等　賞	まつしげ号	丸田　保（鏡川町）	
第4区　高等登録群（3頭1セット）	優　等　賞	すみれ号 すみれ2号 すみれ2の1号	大橋　幸之助（鏡川町） 池田　強（戸石川町） 〃	◎グランドチャンピオン受賞
団　体	総合優勝	県北支所		

平成24年秋に佐世保市を主会場に
第10回全国和牛能力共進会長崎県大会が開催されます。

開催テーマ：
「和牛維新！　地域で伸ばそう生産力　築こう豊かな食文化」

と　き	平成24年10月25日（木）～10月29日（月）	
ところ	「種牛の部」およびメイン会場：	ハウステンボス（佐世保市）
	イベントサブ会場：	島原復興アリーナ（島原市）
	「肉牛の部」会場：	佐世保市食肉地方卸売市場（佐世保市）

全国和牛能力共進会は、全国の優秀な和牛を5年に1度、一堂に集めて優劣を競う大会です。雄牛・雌牛の和牛改良の成果を競う「種牛の部」と肉質を競う「肉牛の部」に各道府県から選抜された約500頭が出品されます。

審査結果が、和牛のブランド化に大きく影響することから、各道府県の威信をかけた非常に重要な大会と位置づけられています。昭和41年の岡山県大会から、平成19年の鳥取県大会まで、これまで全国各地で9回開催されてきました。

長崎県大会は、節目の10回目の大会で、大会史上はじめてテーマパークを会場に開催される大会です。大会では、和牛の魅力を多くの消費者に伝え、生産者との交流を深めていくために、多くのみなさんが参加できる催しなども予定されています。

豊かな自然で育った最高級の肉質を誇る長崎和牛

長崎和牛（肥育牛）生産までの流れ

- 種雄牛生産（約6年）
  - 優良雌牛への授精
  - 優良種雄牛の誕生
- 繁殖期間授精から約20カ月
  - 【繁殖農家】繁殖牛への授精
  - 子牛の出産
  - 子牛の育成
  - 子牛市場へ出荷
- 肥育期間約20カ月
  - 【肥育農家】牛の肥育
  - 肥育牛の出荷
  - 長崎和牛

▲県を代表する種雄牛「平茂晴」、全国的にも非常に高い評価を受けている。

▲超音波診断装置を用いて、生体の肉質判定を行う。

長崎和牛のブランドを高める絶好の機会

interview　肉用牛改良センター所長に聞く

長崎県肉用牛改良センターでは、主に、優秀な種雄牛を育て、その牛の凍結精液を安定的に繁殖農家に供給する業務や肉用牛経営の安定と向上を図るための指導などを行っています。

現在、県有種雄牛の管理は、当センターだけで行っており、種雄牛12頭を飼育しています。牛の生産の過程は、繁殖牛に人工授精させることから始まりますが、優秀な牛を生産するためには、雄の遺伝的要素が大きく影響しますので、過去のデータなどを分析しながら、より良い種雄牛を生産するための研究を日々行っています。

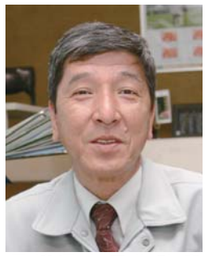
しかし、種雄牛の育成は、一朝一夕で成し得るものではなく、人工授精から約6年かかります。その過程は、県内畜産農家の協力を得て、優秀な種雄牛の精液を、年間80頭の優秀な雌牛に授精させます。そうして生まれた雄子牛のうち、16頭を選定し、その後にいろいろな選定過程を経て、優秀な牛4頭を選抜します。

また、この全てが種雄牛になるわけではなく、この4頭から生まれた子牛の品質を検査して、優秀なものがようやく種雄牛となり、その人工授精用凍結精液が各畜産農家へ配布される流れです。

その後、繁殖農家で生後約10カ月まで育てて、子牛市場に出荷し、肥育農家が約20カ月かけて肉牛に育てます。このように、牛の生産は、長い年月とさまざまな人たちの努力によって成り立っていることから、その生産地域で関係者が一体となった取り組みが必要となってきます。

今回、プレ全共で平戸市からの出品牛がグランドチャンピオンを受賞したことは、これまでの生産者のみなさんの努力の成果だと思います。

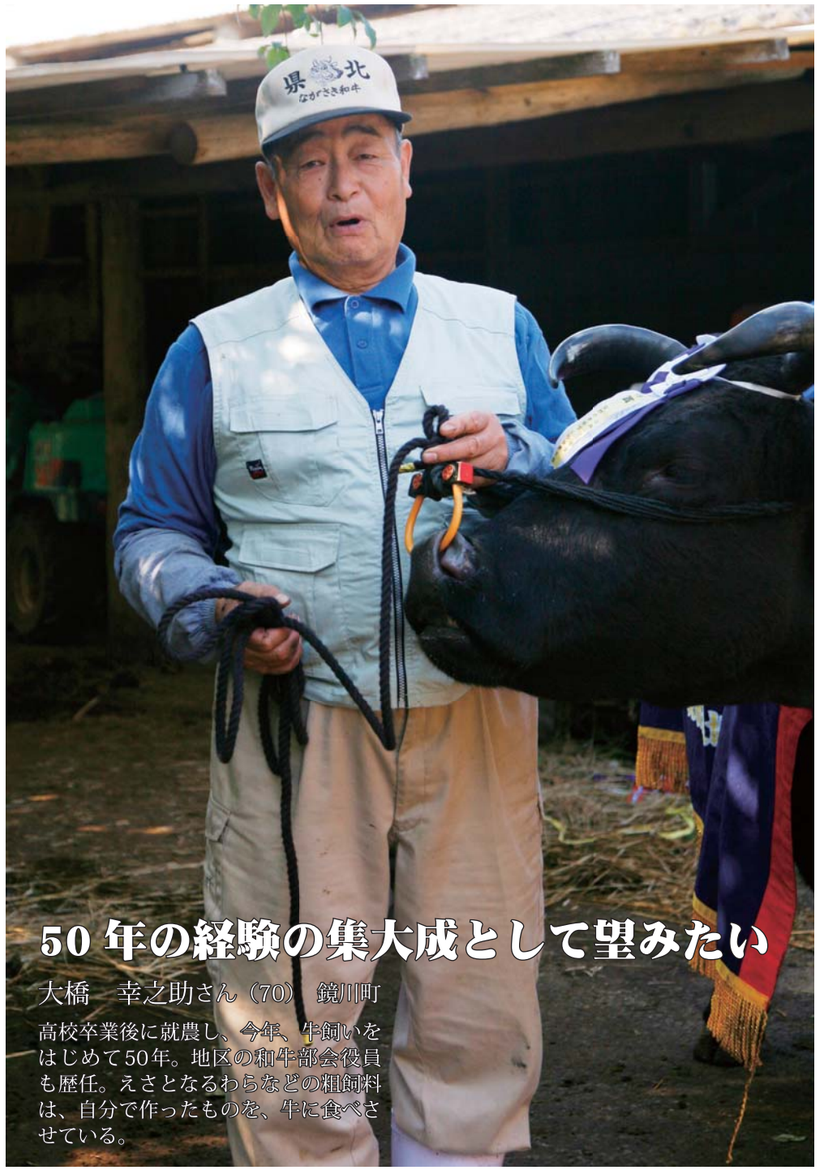
本番の2年後の全国和牛能力共進会長崎県大会での評価は、直接、市場での牛のブランド価値となります。このことから、この大会を長崎和牛の品質の良さを発信する絶好の機会ととらえ、地域の生産者や関係者のみなさんと一緒になって、万全の準備を行って望みたいと思っています。


長崎県肉用牛改良センター
大串　正明所長
Oogushi Masaaki

平戸の産業を支えるために、まちで情熱を注いでいる人にクローズアップ

日本一の夢に向けた挑戦

第10回全国和牛能力共進会長崎県大会に向けて



50年の経験の集大成として望みたい

大橋　幸之助さん（70）　鏡川町

高校卒業後に就農し、今年、牛飼いをはじめて50年。地区の和牛部会役員も歴任。えさとなるわらなどの粗飼料は、自分で作ったものを、牛に食べさせている。

10月27日、県南家畜市場（雲仙市）で、「平成22年度ながさき牛づくり振興大会（プレ全共）」が開催されました。種牛の部では、各地区の代表牛45頭が出品された中、最高賞のグランドチャンピオンに、鏡川町の大橋幸之助さんと戸石川町の池田強さんが輝きました。県北地区の代表牛のグランドチャンピオン受賞は、ここ近年ない快挙です。

今回受賞した第4区（高等登録群）に、3頭（母牛、娘牛、孫娘牛）1セットを、2人で群出品した大橋さんと池田さんに取材をさせていただきました。

鏡川町で、繁殖牛10頭と子牛8頭を飼育している大橋さんは、「まさか自分が受賞できるとは思っていなかったので本当に驚きました。

畜産業をはじめて今年でちょうど50年になりますので、畜産の経験の集大成として、受賞できたのではないでしょうか。今後の生産や2年後の大会に向けて励みとなりました。

全国に長崎和牛の良さを広めたい

池田　強さん（62）　戸石川町

牛飼いをはじめて33年目、今年から牛の専業農家として生産に取り組んでいる。和牛振興委員を長年務めており、日ごろから、地域の和牛の改良増殖に貢献している。

また、日ごろから、お互いに情報交換している地域の畜産業の仲間や指導していただいている長崎県肉用牛改良センターのみなさんのおかげで、品質の良い牛が育っていると思っています」

戸石川町で、繁殖牛12頭と子牛8頭を飼育している池田さんは、「今回のプレ全共を目標としていたので、受賞は大変嬉しいです。優秀な牛を育てるためには、よく運動させること、よく観察することが大事であり、1年中苦労が絶えることはありません。

しかし、2年後の本番の大会に向けてしっかりと準備をして、全国のみなさんに対して、長崎和牛のよさを広めたいと思っています」と、二人に、平成24年秋の大会へ向けての意気込みなどを熱く語っていただきました。

大橋さんが丹精込めて育てている「すみれ号」（8歳）。グランドチャンピオンにふさわしい、堂々とした風貌で、毛が柔らかくきめ細かいなど良い牛の条件がそろっている。良質のえさを与え、運動をさせることなどで、健康な牛に育つ。

写真上：池田さん所有で、「すみれ号」の娘の「すみれ２号」（５歳）。写真中：その娘の「すみれ２の１号」（２歳）、今年終わりに初めての出産を予定。牛舎の清掃や牛の運動は、毎日休みのない作業となる。この作業を欠かさず行うことが、病気をさせないなどの健康管理につながる。

ふるさとまつり

11月7日
市役所大島支所前広場

大島の特産品や商品券が当たるお楽しみ福引きやサザエのつかみどり、大島産コシヒカリのすくいどりなどのイベントのほか、農水産物の販売が行われ約600人が来場しました。

特設ステージでは、保育園児や小学生、高校生が合唱やダンス、伝統芸能を披露。また、9月に開催された九州合唱コンクールに県代表として出場した、大島中学校の全校生徒が、大会での応援に対しての感謝の気持ちを込めて、合唱を披露して祭りを盛り上げていました。

今年もおいしいものなど盛りだくさん！　収穫の秋、各地で秋まつりが開催！

いきつき勇魚まつり

11月23日
市役所生月支所前漁港用地広場

カマスやイカなど、定置網でその日に水揚げされた新鮮な魚介類や塩あご、クジラの販売。そのほか、長崎和牛などの農産品、農器具などの販売が行われ、観光客や市民のみなさん約6,400人が会場を訪れました。特設ステージでは、生月勇魚捕唄保存会ジュニアによる太鼓の披露、よさこい踊りの披露やヒーローショーを実施。クジラ料理の試食会や生月産カキ焼きのコーナーには、順番を待つ列ができるほどの人気で、みなさんおいしいそうに秋の味覚を楽しんでいました。

平戸くんち城下秋まつり

10月23日、24日　平戸城下旧町地区（中心市街地一帯）

中心市街地一帯を会場に「平戸くんち城下秋まつり」が行われました。このイベントは、昨年まで、この時期に開催されていた「平戸よかよかじまん市」などのイベントを統合して開催。平戸の食と物産をメインに、平戸ならではのおもてなしで、商店街一帯を屋台広場と化して、食べ歩きながら散策できるイベントとして、みなさんに楽しんでもらいました。

食のメインイベントとして、平戸と友好関係にある、香川県善通寺市の「乃木うどん」、北海道枝幸町の「毛蟹汁」と「イクラ丼」、大分県臼杵市の「ふぐちり鍋」と平戸の「ちゃんぽん」、「平戸和牛丼」、「アラ鍋」、「鯨のいりやき」との食べ比べは大好評で長蛇の列に。そのほか、平戸の物産を買い求める市民のみなさんや観光客などで、2日間で18,000人の来場があり、町はにぎわいを見せていました。

写真①：田助ハイヤ節市民総踊りで、踊りを披露する田助ハイヤ節保存会のみなさん。写真②：グルメ勝負で使用するアラの解体ショー、多くの人が集まりました。写真③：商店街が、一大屋台広場と化してにぎわいました。写真④・⑤：グルメ勝負で出品された毛蟹汁などのご当地メニューは、どれもおいしく行列ができるほどの人気でした。写真⑥：特設ステージでは、ちびっ子伝統芸能フェスタなどさまざまなイベントが行われました。写真⑦・⑧：香川県善通寺市、北海道枝幸町、大分県臼杵市から、調理や物産販売のスタッフも駆け付けてイベントを盛り上げました。写真⑨：寺院とお寺の見える風景をバックに、地元の「アンサンブル・パレストリーナ」などが、静粛な雰囲気の中で合唱を披露しました。

地域の強みを活かした地域力向上支援事業

A new vision　新たな視点

「地域の強みを活かした地域力向上支援事業」で地域を元気にするために何ができるかを考える。

県が慶応義塾大学と「地域振興に関する連携協力協定」を締結し、県内各地域の持つ地域資源を活かしたまちづくりについて調査し提案する事業が、昨年度から進められています。

今年度は、平戸市で「魅力ある観光振興と交流人口の拡大」というテーマでの調査が、7月から実施されています。

地域を元気にするために

今年の7月から、慶應義塾大学総合政策部の学生22人が平戸を訪れて調査を行っています。調査は、各地域が持つ歴史・文化・自然・食・特産品などの地域資源を、県内外の大学生の視点でみて、その資源の磨き方を考え、地域を元気にするための振興に活かしていく事業です。

今回の取り組みは、単なる調査・研究に終わらず、大学のノウハウやネットワークを活かしながら課題を解決し、起業につなげるなど、実際に施策として展開することを狙いとしています。

昨年度は、松浦市、新上五島町、対馬市、南島原市で実施。平戸市では今年の7月から、平成23年度末までの約2年をかけて調査・研究を行う予定です。

現在、この調査には、慶応義塾大学総合政策学部の学生が、7月から4回、平戸市を訪れ、それぞれのテーマに応じた調査や住民のみなさんへのヒヤリングを実施しています。

平戸市での研究のテーマは、「食・ブランド化の推進」、「廃校・廃墟等の活用」、「中心市街地の活性化」という3つのテーマを掲げ、各グループで調査・研究を行っています。

地域のみなさんとの意見交換

9月11日、北部公民館で、関係者や住民のみなさんに対して、この事業の中間報告と意見交換を実施しました。学生たちが、自分たちで地域を巡って感じた、平戸の魅力に加え、「町の活力が低下していく悪循環を断ち切らなければならない現状」、「まちづくりの運営主体者の不足」などについて、率直に感じた部分についての指摘もありました。

そして、まだ思考中の段階の意見ですが、廃校する校舎の跡地活用についても、「大学生を対象とした語学研修施設に活用できないか」という画期的な提案がされるなど、新しい視点からの提案がなされました。

この学生たちの視点での意見を通して、住民のみなさんと、地域を元気にするための方策について、活発に意見交換を行いました。

このように、この事業は、ただ市への地域活性化方策の提案を行うものではありません。地域づくりに携わるみなさんや関係団体のみなさん、行政と一緒になって、地域づくりの政策立案や課題解決の能力を身につけるなど、人材育成も行いながら、地域の力を向上させることも目的のひとつとなっています。

新たな視点を加えて

10月23・24日の両日に行われた、「平戸くんち城下秋まつり」には、「食・ブランド化の推進」、「中心市街地の活性化」の2班が平戸を訪れ、イベントのボランティアスタッフとしても実際に従事して、平戸の魅力などについて調査を行いました。

このように、学生たちが実際に、地域の中に入って、みなさんとこの地域を元気にするためには、どうすればよいのかを一緒に考えていくプログラムです。

今後も学生たちが、継続的に平戸の調査・研究を行っていきますので、町で学生たちを見かけた時には、調査へのご協力をお願いします。

また、それぞれの研究テーマについて、みなさんとの意見交換の機会がある場合には、ぜひ学生たちの意見に耳を傾けてみませんか。そして、新しい視点を加えて、どうしたら地域を元気にすることができるかについて、一緒に考えてみませんか。

【お問い合わせ】
企画課政策企画班
☎内線2335

今後のプログラムのスケジュール

平成23年 12月下旬	平成23年 2月中旬	平成23年 4月以降	平成24年 2月
中間報告書の作成	市での報告会	県での報告会	2年目の調査開始	県と市に提案書の提出

Interview

慶應義塾大学
総合政策学部３年
清水　陽一郎さん

みなさんと一緒に頑張ります

私たちが、この事業でこれから行いたいことは、大きく分けて二つあります。

一つは、平戸独特の「個性」を市民のみなさんと共に発見し共有することです。もう一つは「よそ者」と「大学生」という視点から、平戸の抱える問題を見つけ出して改善策を考えていくことです。

平戸には、私たち大学生にとっても魅力的な資源が多くあります。平戸ならではの地域力の向上をみなさんと一緒に見つけていきたいと考えています。まだまだ未熟者ですが、メンバー一同、全力で頑張りますので、みなさんよろしくお願いします。

学生たちは、イベントのボランティアスタッフとして従事したり、観光客や住民のみなさんに話を聞いたりして、平戸の観光の現状などを把握しました。

また、先に平戸の現状を調査している長崎県立大学の学生とも、どうしたら、この地域が元気になれるかについて、熱い意見を交わしました。

秋の叙勲、危険業務従事者叙勲、大臣表彰など

受章、入賞おめでとうございます

地方自治や消防、防衛などの分野での長年にわたる功労や社会貢献をたたえる秋の叙勲が、11月3日に発令されました。

また、日々の努力が実を結び表彰された各種表彰者、各種大会での入賞者をご紹介します。

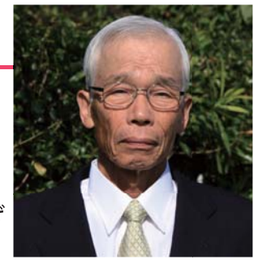
旭日小綬章
地方自治功労

元平戸市長
白濵 信さん
（明の川内町）

「これまで出会ったみなさんに感謝しています」

平成8年から旧平戸市長、新平戸市の初代市長として通算4期12年10カ月にわたり歴任。逼迫する市財政状況において財政健全化に大きく貢献されました。

旭日双光章
地方自治功労



元平戸市議会議員
井手 新助さん
（大久保町）

「みなさんのご指導のおかげだと思っています」

昭和62年から連続5期18年5カ月にわたり在任。市議会議長、議会運営委員会委員長などを歴任し、政治信念を持って市勢振興に多大の貢献をされました。

瑞宝単光章
消防功労

元田平町消防団副団長
長嶺 忠義さん
（田平町小崎免）

「団員と地域のみなさんのおかげだと感謝しています」

昭和37年から37年間消防団員として、最後の10年間は副団長として、強い責任感と積極的な行動力により田平町消防団の発展に大いに貢献されました。

瑞宝単光章
危険業務従事者

元平戸市消防監
前田 初次さん
（坊方町）

「みなさんのご指導の賜物と深く感謝しています」

昭和46年から30年間、消防職員として市民の安心、安全を確保するため著しく危険性の高い業務に精励され、消防力の強化に尽力されました。

厚生労働大臣表彰
国民健康保険関係功績

市国民健康保険運営協議会委員
近藤 善三さん
（堤町）

「今後もみなさんのお役に立つよう精進していきます」

昭和62年から現在まで22年間、国保の健全な運営と発展のため。国保運営協議会委員として被保険者の立場から、十分な理解をもって尽力されています。

瑞宝単光章
危険業務従事者

元3等海尉
寺田 廣次さん
（主師町）

「みなさんのお力添えに心より感謝します」

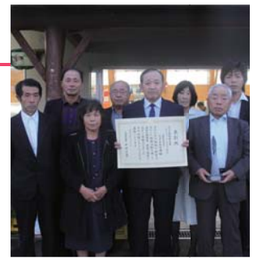
昭和45年から平成15年まで33年間を海上自衛官として、護衛艦乗組員として勤務。高い志と強い正義感をもって防衛に大いに貢献されました。

1団体、1個人が県知事賞を受賞しました

11月20日に、長崎県農協会館（長崎市）で、「ながさき農林業大賞・ながさき水産業大賞」、「第35回ごはん・お米とわたし」作品コンクールの表彰式が行われました。

本市からは、「ながさき農林業大賞」に2団体、個人1組と「ながさき水産業大賞」では、1団体の計3団体、1個人が表彰を受けました。また、「第35回ごはん・お米とわたし」作品コンクールでは、県知事賞に小楠太陽くん（志々伎小1年）の作文が選ばれ表彰を受けました。

県知事賞
ながさき農林業大賞



農事組合法人
ひらど新鮮市場

「みなさんのご協力があったおかげと感謝しています」

新たな加工品開発に取り組むなど、将来に向けた意欲的な事業展開により、地産地消を通じた地域振興への貢献をされています。

県知事賞
「第35回ごはん・お米とわし」作品コンクール作文部門

小楠 太陽くん
（野子町）

「びっくりしたけど、うれしかったです」

作文「おにぎり」は、稲刈りを通して家族が大切に育てたお米を食べる喜びを素直な気持ちでつづった作品です。この作品は、全国コンクールに出品されます。

◎各種受賞者、入賞者は次のとおりです

ながさき農林業大賞
しまの農林業経営部門　運営委員会長賞
川久保　忠・美香（大島村大根坂）
高度生産集団部門　運営委員会長賞
平戸椎茸生産組合

ながさき水産業大賞
未来につなぐ人づくり・漁村づくり部門　長崎県漁業協同組合連合会長賞
平戸市漁協青年部連合会

長崎県学校保健・学校安全推進学校表彰／長崎県学校保健会表彰
平戸市立平戸小学校

長崎県共同募金会会長表彰
長崎県共同募金会平戸市支会

文化財保護に取り組む団体
庭を守る会

第62回長崎県民体育大会成績

【優勝】
○団　体
相撲（成年男子）　4年連続
○個　人
松永六十四（相撲・成年・川内町）
井元　健人（水泳・男子50歳以上50mバタフライ・鏡川町）

【準優勝】
○個　人
平川　浩蔵（陸上・男子50歳以上100m・田平町）
井元　健人（水泳・男子50歳以上50m自由形・鏡川町）
石山　雄太（相撲・成年・田平町）

【第3位】
○団　体
軟式野球（成年一般）
バスケットボール（一般男子）
柔道（一般）
ソフトボール（成年男子壮年SP）
○個　人
田原　正伸（水泳・男子40歳以上50m平泳ぎ・浦の町）

【表彰】
○入場行進優良団体賞
平戸市体育協会　4年連続
○（財）県体育協会体育功労者表彰
松永　悟郎（バレーボール・大野町）
中島　善治（相撲・田平町）

平戸市教育委員会表彰

【文化功労】
邑上　益朗（大野町）
浦川　芳子（田平町）

【優良学校活動表彰】
平戸市立宝亀小学校

平戸市美術展覧会（主な入賞者）

【市長賞】
村田　徳子（画の部・田平町）
立石利一郎（書の部・宮の町）
白石　悦子（写真の部・生月町）
丹澤マリナ（工作の部・岩の上町）

【市議会議長賞】
神保　増夫（画の部・鏡川町）

【市教育長賞】
横山　悠人（画の部・中野小6年）
吉本　圭佑（書の部・平戸小1年）

【市文化協会長賞】
川村　保（画の部・紐差町）
吉田　キミ（書の部・岩の上町）
井沢　英樹（写真の部・田平）
白鞘　幸成（デザインの部・野子中3年）

（敬称略）

平戸の若きアスリート

平戸中学校野球部ナインの挑戦

一戦必勝！全員野球で県制覇!!

少年たちは、九州の頂点を目指した！

10月16・17日の両日、島原市と南島原市の3会場で第2回全日本春季軟式野球長崎県大会が開催されました。平戸市からは、平戸地区5チームで行った予選会を勝ち抜いた平戸中学校野球部が参加。

同校は、強豪ひしめく決勝トーナメントを順当に勝ち進み、決勝では、長崎市の横尾中クラブを破り初優勝しました。この結果、平戸中学校野球部は、九州大会出場への切符を手にしました。

11月20・21日の両日に長崎かきどまり野球場（長崎市）で行われた九州大会では、初戦で大分県代表の城東中野球クラブと対戦。1点を先制されるも終盤に1点を返すと、同点のまま延長戦へ突入。スクイズから得点を許し初戦を落としました。望みをかけた敗者復活戦では、0対0で迎えた最終回に得点を許し敗退。初勝利まで、あと一歩・あと1本というところで大会を後にしました。

INTERVIEW WITH THE CAPTAIN

1点の重みを感じました

この野球部の魅力は、部員みんなが勝利を目指し最後まであきらめないことと一点を大切にし、守る力があるところです。予選や県大会で勝つことができたのも、部員みんなが自分の力を信じ、同じ目標と気持ちを持って試合に臨めたからだと思います。

九州大会では、あと一歩の力が足りなかったと感じています。

宮本　勇大 主将（2年）

第10回全国障害者スポーツ大会に出場

10月23日から25日の3日間、千葉県で行われた「第10回全国障害者スポーツ大会」に、田川忠一さん（田平町）が県代表選手として出場しました。平戸市から県代表選手が選ばれるのは14年ぶり。

出発前の10月19日、黒田市長を表敬訪問し、出場する「フライングディスク競技（樹脂製の円盤を投げる競技）」との出会いや競技内容について熱心に語り、「頑張ってきます」と力強い笑顔で出発しました。大会では、標的の内側を通過した枚数を競う「アキュラシー」と飛距離を競う「ディスタンス」に出場。惜しくも入賞は逃しましたが、練習の成果を発揮し健闘しました。

平戸・生月大橋無料化記念キャンペーン事業

描きたくなる！撮りたくなる！行きたくなる！平戸！

～自然の美術館・ひらど～ スケッチ＆フォトコンテスト

入賞作品が決定しました

11月5日、市離島開発総合センターで「描きたくなる!撮りたくなる!行きたくなる!平戸!自然の美術館・ひらど～スケッチ＆フォトコンテスト」の公開審査会が行われました。同コンテストには、県内外から計237作品（「絵画部門」128作品、「写真部門」109作品）の応募があり、4人の審査員による厳正なる審査の結果、全63点の入賞作品を決定しました。ここでは、入賞作品の中からグランプリと優秀賞をご紹介します。なお、左記の展示会場で、入選作品を展示します。

■展示会場一覧■

と　き	と こ ろ
12月1日（水）～4日（土）	生月町中央公民館
12月5日（日）～8日（水）	平戸市多目的研修センター
12月9日（木）～12日（日）	平戸市ふれあいセンター
12月13日（月）～16日（木）	平戸市離島開発総合センター
12月17日（金）～20日（月）	大島村離島開発総合センター

※展示時間は、各会場の開館時間中になります。ただし、各展示初日は午後1時から、各展示最終日は正午まで展示します。

絵画部門（小・中学生の部）

グランプリ　竹田歩斗（たけだあゆと）さん（生月小2年）

優秀賞　岳下修也（たけしたしゅうや）さん（生月小2年）

優秀賞　濱崎（はまさき）えみりさん（生月小2年）

絵画部門（一般・高校生の部）

グランプリ「オランダ塀」　吉木逸子（よしきいつこ）さん（岩の上町）

優秀賞「カフェ・レストラン」　堤ミチ子（つつみ）さん（佐世保市）

優秀賞「昼下がりの平戸港」　塩田幸助（しおたこうすけ）さん（長崎市）

写真部門（一般・高校生の部）

グランプリ「変化する生月の海」　松井節子（まついせつこ）さん（佐世保市）

優秀賞「恵みの海」　石田博之（いしだひろゆき）さん（松浦市）

優秀賞「夜の平戸大橋」　山口勲（やまぐちいさお）さん（佐世保市）

PHOTO
まちのできごと
NEWS

掛屋君ふれあいコンサートに大喝采！

10月24日、平戸文化センターで、「福祉健康まつり」が開催され、約4,000人が来場しました。おもちゃコンサルタントの髙野幸恵さんによる親子でふれあうキッズ広場や盲導犬とのふれあいコーナーのほか、各種相談コーナーを設置。ステージイベントでは、掛屋剛志くんのふれあいコンサートを開催。掛屋君は、視覚障害と知的障害がありながらも、幼い頃から音楽に秀でた才能を発揮し、その独創性のある演奏で、全国各地で活躍しています。コンサートでは、ピアノや段ボールを打楽器がわりとした演奏と歌声に、観客の感動の拍手が響きました。

乳がんからおっぱいを守ろう

10月18日、平戸文化センターで、「命のコンサート - 守れおっぱい！ - 」（ピンクリボンひらどAI.AI.AI主催）が開催されました。このコンサートでは、今年４月に乳がんで亡くなった本市出身の漫画家大山和栄さんの遺志を受け継いだ本市出身の声楽家松口よう子さんが作曲したピンクリボンひらどのテーマ曲「あなたへの想い」（作詞：柿添澄子さん）が披露されました。また、柿添病院の柿添圭嗣院長先生のミニ講話では、「乳がんは、自分で発見できる。早期発見が大切」と乳がん検診の重要性を訴えました。

新たな門出となる漁協合併

10月19日、志々伎漁協で、志々伎漁協（松山廣繁組合長、組合員数542人）と紐差漁協（安冨和博組合長、組合員数92人）の合併契約調印式が、小島県北振興局長と黒田市長の立会いのもとに行われました。

この吸収合併によって、12月１日から組合員総数634人の新たな「志々伎漁協」となっています。今後は、組合員の経営安定のため、組織力の強化と事業の拡充など合併の利点を活かした漁協運営などに、大きな期待が寄せられています。

いざという時に必要な消火技術の訓練

10月20日、市総合運動公園ライフカントリーで、「第20回初期消火操法競技大会」が開催されました。市内26事業所から自衛消防隊43チーム99人が出場。通報と消火の正確さを競う「消火器の部」、ホースによる放水の時間と正確さを競う「屋内消火栓の部」で、男女別に訓練の成果を競いました。各部門の優勝は次のとおり。

■消火器の部　【男子】平戸祐生園
　　【女子】東和愛児園
■屋内消火栓の部　【男子】市役所B
　【女子】特別養護老人ホーム平戸荘

異文化交流の相撲大会で大盛り上がり！

10月22日、紐差小学校で、「第18回ダービー校交流会」が行われました。これは米軍佐世保基地に勤務する米国人の家族が通うジャックＮダービーエレメンタリースクールと同校が、お互いの文化に興味を持つように行っているもので、今年で18回目の開催です。

同校と同スクールから、それぞれ６年生30人が参加。歓迎会や昼食での交流などのほかに、日本文化の体験として相撲が行われ、和気あいあいの雰囲気の中、土俵上では真剣な取組が繰り広げられました。

笑顔にあふれたグウランドゴルフ大会

10月30日、田平公園運動広場で、「第１回平戸市福祉グラウンド・ゴルフ大会」（平戸市グラウンド・ゴルフ協会主催）が、市内の９施設、約90人が参加して開催されました。この大会は、入所者のレクレーションと健康づくりを目的として開催。競技中は、終始みなさんの笑顔であふれており、ホールインワンなどのハッスルプレーも見られました。優勝者は次のとおり。

【高齢者の部】山添　フミ（光の園）
【障害者入所施設の部】山田　雅美（草笛が丘）
【障害者通所の部】浜口　助雄（ホープドリーム）

地元で獲れた海の恵に感謝して「いただきます」

11月１日、２日の両日、南部中学校で「水産教室その２」（県北地区漁業士会主催・福畑敏光会長）が行われ、２年生54人が参加しました。

この教室は、漁業士の山川富士夫さん（鮎川町）の指導の下、今回は、今年6月に鮎川町古田漁港で同校生徒が、イカの産卵床（イカ柴）を設置したことにちなみ、イカを使ったバター炒めと刺身、地元で獲れたアジを使ったムニエルの３品を作りました。生徒たちは、教わったばかりのイカや魚のさばき方に悪戦苦闘しながらも、海の恵に感謝しながら調理を行いました。

海外に開かれた平戸の歴史を考える

11月7日、平戸文化センター中ホールで、「平戸、海外に開かれた自由な港市」(平戸市博物館連絡協議会など主催)と題したシンポジウムが開催されました。

パネリストには、羽田　正教授(東京大学東洋文化研究所所長)のほか3人の専門家を迎えて開催。ほかの地域には見られない、特色のある平戸の海外交流の歴史や文化をテーマに、地元の学芸員も研究成果を発表するなど、改めて地域資源の価値について再確認できたシンポジウムとなりました。

「火の用心」空気が乾燥するこの時期だから

11月9日、空気が乾燥し、火災が増えてくるこの時期に火災発生の防止への意識を高めることを目的に、秋の火災予防運動に合わせて火災予防啓発パレードが行われました。消防団を始め婦人防火クラブ連絡協議会など約200人が参加し、平戸市消防署から平戸港交流広場までの区間を約1時間かけてパレードを行いました。

このパレードに参加した幼年消防クラブの園児たち93人は、「火の用心！マッチ1本火事の元」と寒空の下、拍子木と大きく元気な声で注意を呼びかけました。

青少年がプロの音楽家と共演し、合奏を披露

11月13日、平戸文化センターで、「平成22年度平戸市青少年音楽会」(市文化協会、市教育委員会主催)が開催されました。参加したのは、市内3校の小・中学校と高校など7団体延べ110人の生徒が参加して、ポップスやクラシックなど全22曲の演奏や合唱を披露しました。生徒たちは、日頃の練習成果を、緊張しながらも堂々と披露しました。特別ゲストとしてプロの演奏を披露したＯＯＭＵＲＡ室内合奏団が加わった全体合奏では、迫力ある演奏に訪れた観客からたくさんの拍手を送られていました。

10万個のイルミネーションが田平公園を彩る

11月14日から田平公園で、「光のフェスタ」(社団法人長崎県公園緑地協会、平戸市商工会青年部主催)が開催されています。「光のフェスタ」は、イベントが少なくなる冬を盛り上げようと、2年前から行われています。公園奥の「花のステージ」では、辺りが暗くなった午後6時に点灯式が行われ、花火約300発の打ち上げと同時に、10万個のイルミネーションが光を放ち、訪れたみなさんは大きな歓声を上げました。「光のフェスタ」は、12月26日(日)まで午後6時から午後10時の間、点灯しています。

健康・福祉
いきいき通信
health and welfare information
vol.06

知っていますか？ノロウィルス

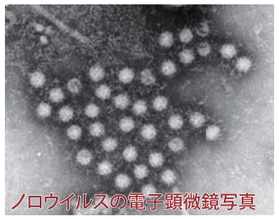
食中毒は、夏にしか起こらないと思っていませんか。ノロウイルスによる食中毒や感染性胃腸炎は、秋から冬にかけて発生します。夏の食中毒の多くは、細菌が原因ですが、冬の食中毒は、ウィルスが原因となることが多く、集団発生も起こります。つい油断しがちな季節ですが、手洗いと食品の加熱、感染源の消毒が大切です。

【お問い合わせ】
保健センター保健サービス班☎内線3760

ノロウィルスとは

小さな球形をしたウィルスで、11月から3月にかけて食中毒の主な病因物質です。ノロウィルスの食中毒を防ぐには、食べる時によく加熱することが大切です。

また、学校や高齢者施設などで集団感染もよくみられます。ノロウィルスは、人にだけ感染し人以外の生物や食材中で増殖することはありません。人から人への感染を防ぐために、手洗いやうがいなどを行いましょう。


ノロウィルスの電子顕微鏡写真

ノロウィルスによる食中毒の原因食品

ノロウィルスは、汚染された海域の二枚貝(カキ、アサリ、シジミなど)に潜んでいます。貝の体内では増殖しませんが、内臓(中腸腺)に蓄積されていると考えられています。食中毒の多くは、カキやカキを含む食事によって起きており、主として加熱調理用として販売されているカキを生で食べて感染することが多いようです。

また、生食用のカキでも、高齢者や子ども、体力のない人、あるいは健康な人でも疲れて体力の落ちている場合には注意が必要です。そして、ほかの食品から感染する場合もありますので、油断はできません。野菜サラダやサンドウィッチ、ケーキなど、生ものや加熱が不十分な加工食品も原因となっています。

感染防止には加熱が有効

ノロウィルスは、酸や消毒用アルコール、熱にも強いウィルスです。しかし、十分に加熱することで不活性化させることができます。加熱調理するときは、食品の中心部の温度が85℃で1分以上の加熱が目安です。

ノロウィルスによる食中毒の症状

感染すると，一般的に24時間から48時間後に吐き気や嘔吐，腹痛，下痢など風邪に似た症状が現れます。これらの症状は通常1日から2日ほど続きますが，その後は自然に回復します。

しかし，症状がなくなった後も，1週間から長いときには1か月程度も、便の中にウィルスが含まれるので注意が必要です。感染した人は、手洗いや入浴の際に十分な洗浄を心がけましょう。

ノロウィルス予防４カ条

ノロウィルスは、食品中では増えず、人の腸管内でのみ増えます。そのため、嘔吐物やふん便を介した二次感染によって、周囲の人に感染させる危険性があります。

そのため予防するには、清潔を保つことと食品を十分に加熱することが基本です。わずかなウィルスの付着で感染するので、特に抵抗力の弱い子どもや高齢者は、患者の近くや患者の使ったものに近づかないようにしましょう。

①食品対策	生ものを食べるのを極力避け、食品の中心温度を85℃で1分以上加熱しましょう。
②手洗い	ウィルスを洗い流すため、調理の前後、トイレやおむつ交換、ペットを触った後などは、必ずせっけんでよく手を洗いましょう。
③衛生管理	調理器具の使用後は、ときどき漂白剤に浸して殺菌しましょう。
④汚物処理	嘔吐物、ふん便を処理するときは、マスクとプラスティック手袋を着用し、周りを汚染させないようにしましょう。

九州東亞物語 Japan・Kyushu

3県5市を結ぶ観光コース“九州東アジア物語”

～5市が連携して発信する台湾への観光ＰＲ～

■お問い合わせ
観光物産振興課観光振興班　☎内線2274

「会場：台北世界貿易センター」

5市長のトップセールス、台湾での観光ＰＲに手応え！

九州北西部の5市（平戸市・嬉野市・雲仙市・武雄市・福岡市）で組織する「東アジア誘客3県都市連携会議」の事業の一環で、11月4日から8日にかけて、黒田市長、谷口嬉野市長、奥村雲仙市長、樋渡武雄市長をはじめとする台湾宣伝隊27人が、現地マスコミなどへのトップセールスのほか、台北国際旅行博ＩＴＦ２０１０で5市の観光ＰＲを実施しました。

市長らは、台湾最大の通信社「中央通信社」の洪健昭会長、台湾外交部の粘信士副秘書長と会談を行い、台湾の観光事情について熱心に意見交換し、お互いに協力していくことを確認。台湾からの誘客に確かな手応えを実感しました。

▲これからの平戸と台湾の交流促進に向けて洪健昭会長と会談を行う黒田市長

第18回台北国際旅行博ＩＴＦ２０１０に観光ブースを出展

11月5日から8日の4日間、台北最大の旅行博が台北市の台北世界貿易センターで開催されました。北海道や東北、関東、関西、四国など日本全国からも41団体88ブースが参加したほか、韓国、インドネシア、マレーシアなどの観光関係者も多く参加し、旅行商品の販売が盛大に行われました。

台湾の旅行会社や一般参加者も含め旅行博期間中に、延べ21万人が来場し会場は大混雑。5市観光ブース出展のほか、パンフレットの配布、イベントステージで披露された平戸神楽や九州観光推進機構と観光庁ブースを使用して観光ＰＲを行いました。

▲初めて台湾で平戸神楽・二剣の披露を行った

また、黒田市長が鄭成功に扮して登場。幕末の志士の衣装に扮した武雄市長ら3市長とともに会場を練り歩き、会場に訪れている多くの人から注目を集め、台湾の旅行会社やマスコミへ積極的にアピールしました。

九州東アジア物語の実現に向けて

台湾での観光ＰＲからは、現地の旅行会社やマスコミなどの好反応を感じるとともに広域での観光コースの確立が求められているなどの課題を持ち帰ることができました。

本市では、鄭成功の生誕地であることを強く押し出し、農村・漁業体験、温泉、グルメ、景観など、積極的に売り込みを行っていきます。

また、来年の辛亥革命１００周年に向けて、チャーター便の定着や交通アクセスの改善を早急に検討し、台湾からの観光客誘客と交流拡大に長崎県や3県5市と連携し、観光素材の個別ＰＲではなく、新たな観光コースの開発「九州東アジア物語」に取り組んでいきます。

▲鄭成功に扮した黒田市長と３市長が、会場を練り歩き九州東アジア物語をアピール

Interview

まごころこめた交流が地域のちからに

楠富　幸宏（まちづくりボランティア）

地元の良さを大事にして、楽しみながら盛り立てよう。

修学旅行の民泊を引き受けることで、地域資源を活かしたまちづくりにつながりました

生涯学習 学びの達人 Lifelong Learning
学んでみよう そこには新しいあなたと まちキラリ

野子町の自宅の調理場で、修学旅行生に刺身の作り方を教えている人がいます。楠富幸宏さんです。

漁協の理事をしているとき、一般家庭へ民泊する修学旅行生に、さまざまな体験をしてもらう活動に出会い、今では年間10回ほどの受け入れをこの地域で行うようになりました。

よそ様の子どもをお預かりするという責任を強く感じています。十分に研修を積んでいても、トラブルが起こることもあり、難しい部分もあります。ですが、地域も私自身もこの活動で多くのものを得ていると感じています。

学生たちと一緒に散歩すると、豊かな自然に感動する子どもの心が伝わってきて、郷土の良さを大事にしようと思うし、つかの間でも受け入れて家族になった子から、「お父さん、お母さんみたいになりたい」などと言われると、返って、自分が頑張らにゃ、子たちに恥ずかしい姿は見せられんという気になります。

何よりまごころのふれあいが一番大事。仲間と自然に囲まれていい生き方のできとるよ、と優しいお父さんの顔で話してくれました。

生涯学習実践人
楠富　幸宏さん
◎野子町（57）

志々伎体験型振興会会長、社団法人まつうら党交流公社理事を務める。

小さな頃から好奇心旺盛で、日曜大工やあれこれと好きなものは多いが一番の趣味は、「漁業の仕事」

黒田市長の平戸初体験記 vol.11

あら鍋まつり

幻の高級魚「アラ（一般名・クエ）」を食材として、例年市内の14の旅館や飲食店で今月末まで開催されている「平戸あら鍋まつり」を体験しました。大相撲九州場所が始まると力士がこぞって食べるといわれるほど、食通にはたまらない食材で、なかなか獲れる魚ではないため希少価値が高く、その姿は体長も約1ｍで体重は20kg前後にもなります。

平戸くんち城下秋まつりでも北海道枝幸町提供のイクラ丼とのグルメ対決でも味わえましたが、今回は本格的にアラのしゃぶしゃぶと雑炊をそれぞれのお店で食することができました。

▲アラのしゃぶしゃぶは、ほかでは味わえないまさに幻の一品です

↑こののぼりが目印です

アラ鍋としゃぶしゃぶは、きれいな白身の食感もよく、脂がのっていて風味は抜群でした。ほかの魚では味わえないようなしっかりした身で食べ応えがあります。また、旨みの凝縮された最高のだしがきいた雑炊は本当に美味しく、上品で濃厚な味は、まさに「幻の一品」に相応しいと確信しました。

「あらづくしコース」では、ほかにも肝やウロコなども食することができるそうで、唐揚げや塩焼きなども楽しめるそうです。

「そのうち食べよう」と思っている人もいらっしゃるでしょうが、コラーゲンたっぷりの健康食でもある極上の一品を旬の今、ご家族で楽しんでみてはいかがでしょうか。

国際交流員
レムコー・フロライクの

HIRADO X-change

平戸と世界をつなぐコーナー

「国際交流員研修」

ホイ！（オランダ語で「こんにちは！」）もう2010年の最後の一ヶ月間になりました。私は、国際交流員として平戸に来て、もう３年半になります。

国際交流員とは、全国の市役所や県庁、国際交流協会などで働いている専門職員です。現在、25以上の国から約450人の国際交流員が日本で働いています。国際交流員は必ず日本語を話せるので、翻訳と通訳や国際交流イベントなどの仕事しています。私も毎日忙しく、そして楽しく国際交流関係の仕事をしています。

全国の国際交流員のため、毎年11月には、研修が行われます。研修では、国際交流員やさまざまな分野のプロによるワークショップが行われます。いろいろな国から来た国際交流員がいますので、英語ではなく、日本語が共通語です。いろいろな国の人と話すことは、とても面白いです。みんな日本に住んでいるのに職場によって経験が全然違います。大きな都市に勤めている国際交流員は、多文化共生の仕事、いわゆる外国人のための窓口の仕事をするなど、ほかの国際交流員のいろいろな話を聞くと日本は本当に国際的な国だと感じました。

この研修に参加して、平戸でまだまだ新しい仕事に挑戦したいと思いました。特に、来年秋にオープン予定のオランダ商館に関する仕事を楽しみにしています。せっかくの機会なので平戸をもっと国際的なまちにしたいと思います。来年もよろしくお願いします！

今月のおすすめ本

みんなの図書館（としょかん）

このほかにもたくさんの新着図書があります!!

『ゆめのゆき』

作／エリック・カール
訳／あおきひさこ
出版社／偕成社

クリスマスの雪がおじいさんと動物たちを包み込み、おじいさんは動物たちにプレゼントをあげます。
雪を印刷した透明シートや鐘の音が鳴る、クリスマスにぴったりのしかけ絵本です。

平 大

『おせちとお正月165点』

出版社／ブティック社

簡単おせちや伝統おせち、和・洋・中・韓のごちそう料理、お祝いデザートまで、お正月料理のレシピを盛りだくさんに紹介しています。また、全国のお雑煮や年越しそばなども掲載されていて、年末年始にとっても便利な一冊です。

南

『ちか100かいだてのいえ』（大型絵本）

作／いわいとしお
出版社／偕成社

主人公のクウちゃんは地下100階のパーティにさそわれて行ってみることにしました。地下100階までたどりつけるかな？子どもたちに大人気の本が、長さ１メートル以上の超大型絵本になりました。

平

『歌うくじら　上・下』

著／村上　龍
出版社／講談社

2022年のクリスマスイブ、ハワイの海底で、グレゴリオ聖歌を繰り返し歌うザトウクジラが発見された。そして100年後の日本、不老不死の遺伝子を巡り、15歳の少年の冒険が始まる。「群像」連載を書籍化。下巻も同時刊行。

平 生

『昔むかしの物語』

作／イワナ・ブルリッチ＝マジュラニッチ
訳／山本　郁子
出版社／冨山房インターナショナル

「クロアチアのアンデルセン」と呼ばれ、児童文学に大きな足跡をのこした著者の親子や家族の大切さを織り上げた愛の物語。寒い日はお家でゆっくり読書にふけるには、おすすめの一冊です。

田

『世界で一番美しい元素図鑑』

著／セオドア・グレイ
写真／ニック・マン
監修／若林　文高　　訳／武井　摩利
出版社／創元社

「すいへいりーべぼくのふね･･･」と覚えたあの元素。その元素が美しい写真で掲載。性質や用途などをユーモアを交えて紹介しています。

永

※平：平戸図書館　永：永田記念図書館　南：南部公民館図書室　生：生月町中央公民館図書室　田：田平町中央公民館図書室
大：大島村公民館図書室

～図書館からのお知らせ～

平戸図書館　☎22 - 4017

◎休館日／７日㊋・14日㊋・21日㊋・26日㊋・28日㊋～１月４日㊋（年末図書整理、年末年始）

●12月の主なもよおし●

- おはなし会／毎週土曜日　午後２時～
- 赤ちゃんおはなし会／８日㊋ 午前10時30分～ 北部公民館 和室大
- クリスマス＆お正月リース作り教室／11日㊏ 午後１時30分～　北部公民館 大ホール
- クリスマスおはなし会／25日㊏ 午後１時30分～　平戸図書館

永田記念図書館　☎28 - 0128

◎休館日／７日㊋・14日㊋・21日㊋・26日㊋・28日㊋～１月４日㊋（年末図書整理、年末年始）

●12月の主なもよおし●

- おはなし会／４日㊏・18日㊏・25日㊏ 午後２時～　市ふれあいセンター児童室
- 映画会／11日㊏ 午後２時～　市ふれあいセンター児童室
  - ・源吉じいさんと子ぎつね（18分）
  - ・すずのへいたいさん（12分）
- クリスマスおたのしみ会／23日㊌ 午後２時～　市ふれあいセンター

南部公民館図書室　☎27 - 0047
生月町中央公民館図書室　☎53 - 0541
田平町中央公民館図書室　☎57 - 0207
大島村公民館図書室　☎55 - 2985

Town's People CLOSE UP!
まちのひとびと

Club Introduction
クラブ紹介

「山田小学校ミニバスケットボールクラブ」 「ミニバス大好き。山田っ子！！」

■活動ＤＡＴＡ■

活 動 日／毎週月・水・土曜日
午後６時30分～午後８時15分
午前９時～正午（土曜日のみ）
活動会場／山田小学校体育館
対 象 者／山田小学校女子児童
連 絡 先／代表宅　☎53-3295
部 員 数／17人
参 加 費／2,000円（月額）
代　　表／破戸　修さん（生月町南免）

山田小学校ミニバスケットボールクラブは、平成10年に設立しました。練習では、ボールハンドリングやドリブルなどの基礎練習を中心に行っています。今年から佐賀県の「ひれふりリーグ」に参加し15勝3敗で10チーム中、準優勝に輝きました。また、10月に行われた県北地区県予選と、4年生以下のメンバーで参加するフレッシュ大会でダブル優勝することができました。ユニフォームも新調したこともあり、新たな気持ちでバスケットに打ち込み、チーム全体全員が活気に満ちています。

先月、長崎市で行われた県大会は、敗れはしましたが、目標としていた初戦に勝つことができました。練習に励んできた成果を発揮できたと思っています。クラブでは、現在、メンバーを募集しています。バスケットに興味がある子は、見学に来てくださいね。

「平戸バドミントンクラブ」 「楽しくワイワイ、ストレス発散！」

■活動ＤＡＴＡ■

活 動 日／毎週火・金曜日
午後８時00分～午後10時
活動会場／平戸中学校体育館（火曜日）
中野中学校体育館（金曜日）
対 象 者／どなたでもOK
連 絡 先／代表宅　☎28-1255
部 員 数／12人
参 加 費／500円（月額）
代　　表／辻村　敏さん（紐差町）

平戸バドミントンクラブは、平戸中学校と中野中学校の体育館を借りて、明るく楽しく活動しています。練習は、体に負担をかけないように軽い運動から始め、体が温まってきたところでフットワークを交えた基礎練習を行っています。ゲーム形式の練習では、実際の試合を意識し、メンバーそれぞれが、自分の目標を立てるなどして練習に飽きないように工夫しています。

今は、今月行われる平戸文化センター杯に出場するため、練習に励んでいます。また、自分たちのクラブ活動のほかに、公民館のバドミントン講座参加者に教えるなどの活動も行っています。現在、メンバーを募集しています。初心者の人でも大歓迎です。バドミントンに興味がある人は、ぜひ、体育館に見学に来てくださいね。一緒に楽しくラリーをしませんか。

ひらど なかよし おやこフォト vol.6

江代（えしろ）　知美（ともみ）さん（崎方町）
美晴（みはる）ちゃん（H19.12.19生）・竜輝（りゅうき）くん（H15.6.27生）

■呼び方「みはちゃん」
■好きな遊び「ままごと」
■興味を持ち始めたこと「しゃぼん玉遊び」
■天使のしぐさ「お菓子を食るときの幸せそうな笑顔」

「これからもかわいい笑顔でいてください」

ついこの前まで、みはちゃんは、人見知りが激しく、決して人前にではしゃべらず、泣くことが多い子でした。今は。おしゃべりも好きになり上手にあいさつもできるようになりました。お兄ちゃんのことが大好きで、毎日一緒に元気よく遊んでいます。

最近は、お店のケーキの後片付けやショーケースを拭いてくれるなど、お手伝いをしてくれるようになりました。これからもお兄ちゃんと仲良く元気に育ってほしいと思います。

橋口（はしぐち）　大志（だいし）さん・智絵（ちえ）さん（津吉町）
紗英（さえ）ちゃん（H20.12.17生）・莉空（りく）くん（H18.8.10生）

■呼び方「さえちゃん」
■好きな遊び「手遊び歌・絵本を読むこと」
■興味を持ち始めたこと「お絵かき」
■天使のしぐさ「しゃようなら～（さようなら）の挨拶」

「優しく元気な女の子に育ってね」

お兄ちゃんと仮面ライダーごっこをしては、ケンカになる慌ただしい毎日です。お兄ちゃんがまだ甘えん坊さんなので、その分、紗英が、とてもたくましく感じます。泣いているお兄ちゃんをしかったり、なぐさめたりするなど男の子のような姿もよくみられます。しかし、やっぱり女の子。食事や着替え、歯磨き、トイレなど何でも自分でやりたがります。これから、たくさんお母さんのお手伝いをしてくれるようになるのが楽しみです。

募集しています

大募集！「まちのひとびと」へあなたも投稿しませんか？

「クラブ紹介」
スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介します。私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「なかよしおやこフォト」
発行月にお誕生日を迎える６歳まで（未就学児に限る）のお子さんとそのご両親、またはどちらか一方を募集します。掲載は、先着２組の家族まで。申込期限は、発行月前の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。
○応募方法　写真に名前・住所・電話番号・メッセージ、家族紹介文を添えて郵便、またはＥメールにてご投稿ください。
※写真は返却しません。ご投稿いただいた作品は必ずしも掲載とは限りませんのでご了承ください。

あて先　〒859-5192　平戸市岩の上町1508番地３　市長公室秘書広報班　E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

市民の声
Citizen's Voices

このコーナーは、広報ひらどの読者のみなさんからの声を伝えるページです。
広報ひらどへの感想、平戸市への思い、身近な出来事など、たくさんの声をお寄せください。

△10月23日、24日に行われた平戸くんち城下秋まつりからの一コマ

今回の応募総数は、12通でした。

毎日、愛犬と一緒に平戸の豊かな自然を満喫しています。海に行けば、ビーチに流れ着くグラスや器のかけら、流木を拾い、何をつくろうか？とワクワクし、山に行けば、山菜や木の実がないかとキョロキョロ。

今秋は、むかごのコロッケや山ぶどうのジャムとパン、ツルナのソテー、大根の葉っぱでおひたしをつくり、家族と「結構おいしいねえ」と野性味溢れる自然の恵みをいただきました。

まだまだ、自然について未熟なので、「身近な自然を暮らしに取り入れる」そんな知恵を教えてくれる講座があったらいいなと思います。

（メリーママ　48歳女性）

【担当からの回答】

現在行っている生涯学習講座には、自然を題材に昔から受け継がれてきた智恵や新たな工夫などをテーマにした講座は、行っておりません。

講座の開設には、住民ニーズや講師の確保などが必要となります。

来年度の生涯学習講座で検討を行い、講座の開設が決定しましたら、生涯学習課が発行しています生涯学習だより「まなぶ君」などを通じお知らせします。

生涯学習課生涯学習推進班
（☎内線2624）

今日、文化センターで絵の表しょう式がありました。

たくさんの人が来ていてドキドキしました。名前を呼ばれ、賞状とたてをもらったときは、とてもうれしかったです。

（ドーナツ　女性）

今日、お父さんとばあちゃんと兄ちゃんと自分とで稲こぎをしました。

2日間かかる予定が、今日1日で終わることができて良かったです。

おいしい新米を食べられるのが楽しみです。

（すすき　男性）

先日、地デジ対応のテレビを買いました。40型です。大きくて見ごこち最高です。12月になるとエコポイントも半額になるとか…。

今のうちに買って大正解だと思ってます。

（ひかり　女性）

元平戸市民として投稿しました。毎月送ってもらっている「広報ひらど」は、情報がたくさん掲載されていて、特に「情報ひろば」の欄は、楽しみにしています。

度島在住の妹や弟たちとの郵便、電話のときの話題にしています。

（文士郎　71歳男性）

先月、男の子が生まれました！念願の男の子で喜び人一倍でした！！しかも、同じ月に友だちが、それぞれ3人も生まれました！少子化の平戸ですが、そんなことは無いのかとも思ってしまいます。子ども手当が出るから、それだけでも助かります。

僕が、平戸の少子化を止めます。

（坂木龍馬　29歳男性）

先日、2人目の妊娠が判明しました。勤め先に、妊娠したことを伝えるとみんなから「おめでとう」といってもらえました。元気な赤ちゃんが産まれてくるように、パパと一緒にがんばります。1人目が女の子だったから、次は男の子がいいな。

（ムーミンママ　27歳女性）

先日、中学校で行われた「お魚教室」に、参加させていただきました。アジやシイラのムニエルやイカのカレー炒めなどを、子どもたちと一緒に作り、試食。片付けも一緒で、楽しいひとときを味わいました。

子どもたちにもっと魚を食べてもらうために、と主催された平戸市漁協青年部のみなさんの思いが、通じた良い1日になりました。

（ひまわり　女性）

※このほか、4通のお便りがありました。

PRESENTS
読者プレゼントコーナー

乙姫水産「緋扇貝 20 個（3,000 円相当）」を５名様にプレゼント！

※写真の貝は、Mサイズです。

乙姫水産は、宝亀教会の眼下に広がる自然豊かな宝亀湾で緋扇貝の養殖を行っています。ホタテ貝に比べるとその身は小ぶりですが、プリプリの身にぎゅっと詰まった甘みは、濃厚でホタテ貝に負けていません。これから旬を迎え、炭火で焼くのはもちろん、鍋や煮物、酒蒸しなどやバターソテー、フライなど調理のバリエーションも豊富。低カロリーで、タウリンを多く含むため疲労回復にも効果があります。

乙姫水産では、紐差町の浜口商店さんの一角に無人販売所を設けています。また、直接販売や地方発送も承っています。色鮮やかな緋扇貝は、贈り物やお歳暮としても大変喜ばれています。今回は、Lサイズ（約9㎝程度）の緋扇貝20個3,000円相当を5名様にプレゼントします。ぜひ、この機会に味わってみませんか。

◎プレゼント品についてのお問い合わせ
乙姫水産
〒859‐5361　平戸市紐差町1162番地1
TEL・FAX　28-1002

※プレゼントは、事業所などから提供をいただいています。

市民のみなさんからのおたよりお待ちしています。

郵便、FAX、E‐Mailで、氏名（ふりがな）、年齢、性別、住所、電話番号、ペンネームまたはイニシャルを記入の上、広報ひらどを読んだ感想や取り上げてほしい話題や記事、平戸市への思い、あなたの身近な出来事などを書いてご応募ください。

お便りをいただいた人の中から抽選で5名様に上記商品をプレゼント。応募締切は12月20日（月）当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

◎あて先
〒859‐5192　平戸市岩の上町1508番地3
市長公室秘書広報班
「市民の声＆読者プレゼントコーナー」係
▼FAX　22‐2419
▼E-Mail　kouhou@city.hirado.lg.jp

※市ホームページからも投稿することができます。
※個人情報の取り扱いについては、「平戸市個人情報保護条例」に基づき適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取り扱い事業者に提供いたしますのであらかじめご了承ください。

■TOPICS

一人でも多くの人に伝えたい、届けたい

11月10日に市長室で、毎月1回、市内で活動している女性グループのみなさんと昼食を食べながら気軽に懇談をする「市長と気軽にランチタイム」が開催されました。

今回は、広報ひらどや福祉関係の広報紙などを視覚障害がある人のために、音声化して届けている平戸音声訳の会「まきの実」（籠手田ヨシ子代表）のみなさん9人が参加。黒田市長との懇談では、録音された音声を聞く再生機材の紹介や録音するときに気をつけていることなどを話しました。

平戸遺産（ひらどいさん）

平戸遺産

地元で大切に受け継がれる民俗芸能

Vol.55

築地町のジャ踊り

室町時代末、中国との貿易を通じ築地町に伝わったとされていますが定かではありません。築地町は、江戸時代後期の文化年間（1804～1818年）に城下町整備のため造営されたので、これ以降とも考えられますが、確実な記録としては明治13（1880）年亀岡神社遷宮祭に奉納するため長崎を訪れ、踊りを習ったとされています。道行、打込み、抜け、つぐらなどの踊りからなり竜の口から煙を吐く様子は、長崎のジャ踊りにはない築地町ジャ踊りの特徴です。竜方（じゃかた）は玉遣（たまつかい）1人と遣手（つかいて）10人以上、囃子方（はやしかた）は太鼓、ドラなどで構成され、爆竹が鳴り響く中、大変にぎやかな雰囲気で披露され、観客を魅了します。

▲つぐらでは、玉を探し、煙を吐きながら頭を高くあげる

文化財DATA

- ■名　称
  築地町のジャ（竜）踊り
- ■種　別
  市指定無形民俗文化財
- ■指定年月日
  昭和55年2月26日
- ■所在地
  平戸市築地町

獅子の須古踊り

戦国時代に肥前白石地方（現在の佐賀県南部）より伝わり、雨乞いや稲の虫除けと豊作を祈願する虫送りの行事として行われています。伝わった当時は、お昼に街中を行列していたとされていますが、現在は8月に舞台を設けて披露されています。まず即興で花飾りをした四角形の枠を持ち、祝い歌をうたい踊る「枠ふり」から始まります。枠ふりは、生月や大島などほかの地域の須古踊りには見られない獅子地区独自のもので、アンコールを意味する「ショモウ、ショモウ」の掛け声がかかり、2度3度と踊られます。その後、大名行列を模したといわれる「鳥毛（とりげ）の槍」、若者が演ずる「杖使い」、子どもたちが10人前後で踊る「高い山」、太鼓や鉦（かね）、笛を奏でる「中踊り」から構成されています。獅子の須古踊りは、地区全体で受け継がれている貴重な民俗文化財です。

文化財DATA

- ■名　称
  獅子の須古踊り
- ■種　別
  市指定無形民俗文化財
- ■指定年月日
  昭和59年3月31日
- ■所在地
  平戸市獅子町

▲須古踊りの中心を担う中踊りでは、躍動的に太鼓や鉦を鳴らす

▶奉納する場所に応じて即興的に祝い文句を歌い踊る

お知らせ INFORMATION

収集日の確認を！年末年始の「ごみ・し尿収集」

問 市民課環境交通班 ☎内線2528

『年末年始のごみ・し尿収集』

年末・年始の収集日は、下記一覧表のとおり行います。各地区で収集日が異なりますので、ご確認ください。

特に、平戸地区は、年始の収集開始日が行政区によって異なりますので、ご注意ください。

【お願い】

▼12月31日（金）から平成23年1月3日（月）までは、各地区のごみステーションにごみを出さないようお願いします。

▼粗大ごみの回収やし尿の汲取りは、決められた期日までに予約をお願いします。

▼「警告シール」が貼られ回収されずにいるごみ袋は、各ステーション利用者の責任で、12月13日（月）までに分別をお願いします。

『北松北部クリーンセンターからのお願い』

①「燃えるごみ」・「生ごみ」には、金属類などの不燃物を混入しないでください。

②「飲料用のかん」・「びん」・「ペットボトル」は、蓋をはずし中を洗って出してください。

特にタバコの吸い殻などを入れないでください。

◎年末・年始ごみ収集カレンダー

月日	曜日	平戸・生月地区 燃えるごみ・生ごみ	平戸・生月地区 資源ごみ等	田平地区 燃えるごみ	田平地区 資源ごみ等	北松北部クリーンセンター（個人持込）	大島地区 燃えるごみ	大島地区 不燃ごみ	大島村クリーンセンター（個人持込）
12月20日	月	平常収集		平常収集		受入可 9：00～12：00 13：00～16：00	平常収集		受入可
12月21日	火								
12月22日	水							平常収集	
12月23日	祝・木						平常収集		
12月24日	金								
12月25日	土	休み							休み
12月26日	日								
12月27日	月	平常収集		平常収集		受入可 9：00～12：00 13：00～16：00 ※30日は午後3時まで	平常収集		受入可
12月28日	火								
12月29日	水							平常収集	
12月30日	木	全地区収集	休み	全地区収集	休み		平常収集		
12/31（金）～1/3（月）までの間は、収集業務および施設の受け入れは、休みます。									
1月4日	火	[平戸]通常月・木地区 [生月]全地区収集	休み	全地区収集	休み	受入可 9：00～12：00 13：00～16：00	臨時収集		受入可
1月5日	水	[平戸]通常火・金地区 [生月]全地区収集		平常収集				平常収集	
1月6日	木	平常収集					平常収集		

※北松北部クリーンセンターの12月の休日受入は、23日（木）となっています。

◎一般廃棄物収集許可業者一覧（事業系を除く）

地区名	収集の種類	地域名	業者名	電話番号	予約締切日など
平戸地区	粗大ごみ	北部地域	(有)平戸清掃	☎23-2210	12月10日（金）までに予約が必要です。1月4日（火）から平常収集となります。
		中部地域	中部清掃(有)平田	☎28-2114	
		南部地域	(株)谷山清掃	☎27-0030	
		度島地域	赤木衛生設備	☎25-2310	
	し尿	北部地域	(有)平戸衛生サービス	☎22-2497	12月13日（月）までに予約が必要です。1月4日（火）から平常収集となります。
			下道清掃	☎22-2573	
		中部地域	八木原清掃	☎28-1048	
		南部地域	藤島清掃	☎27-0055	
		度島地域	赤木衛生設備	☎25-2310	
	浄化槽汚泥		(有)鶴丸設備	☎23-3629	12月29日（水）～1月3日（月）まで休みます。
			(有)松尾設備	☎22-3351	
生月地区	し尿・浄化槽汚泥	生月地域	(有)生月衛生社	☎53-2282	12月13日（月）までに予約が必要です。12月29日（水）～1月3日（月）まで休みます。
		山田地域	生月清掃事業所	☎53-0214	
田平地区	し尿		(有)新北松衛生社	☎0956-65-2766	12月28日（火）までに電話連絡ください。12月30日（木）～1月4日（火）まで休みます。
	浄化槽汚泥				
			(有)吉田環境衛生設備工業	☎0956-76-2351	12月29日（水）午後～1月4日（火）まで休みます。
大島地区	し尿	的山・大根坂	大島村クリーンセンター	☎55-2007	12月1日（水）～12月13日（月）まで予約を受け付けます。
		神浦・前平・西宇戸			12月14日（火）～12月22日（水）まで予約を受け付けます。
	浄化槽汚泥		(有)鶴丸設備	☎23-3629	12月29日（水）～1月3日（月）まで休みます。

◎市役所各課へは代表番号（☎0950-22-4111）からお回しします

お知らせ INFORMATION

歯医者でのお口の健康指導を受けませんか？

問 長寿保険課国保年金班 ☎内線2591

被保険者の健康保持と増進のため『お口いきいき健康支援（口腔ケア）事業』を実施しています。

○**対象者**　後期高齢者医療保険の被保険者証をお持ちの人

○**申込先**　県後期高齢者医療広域連合、または長寿保険課国保年金班（☎095-816-3930）

※受診を希望する歯科医院に直接申し込むこともできます。

○**受診方法**　申し込み後に送付する受診券をかかりつけの歯医者さんに提示してください。3回を限度にお口の中の健康指導が受けられます。

○**自己負担額**　無料

○**申込期限**　12月24日（金）まで

業者登録の受付をはじめます（物品・業務委託）

問 財政課契約管財班 ☎内線2357

市が行う物品の購入や売却、業務委託（設計・測量を除く）の入札、見積合せに参加する業者登録を希望する人は、「平戸市物品入札参加資格審査申請書」の提出が必要です。

原則として登録のない業者は入札、見積合せなどに参加できませんのでご注意ください。

○**受付期間**　平成23年1月4日（火）～2月28日（金）午前9時～午後4時まで（土・日・祝日を除く）

○**受付窓口**　財政課契約管財班

※郵送の場合、受理票をお返しするための返信用封筒が必要です。

○**申請書の入手方法**　市ホームページからダウンロードしてください。

○**URL**
http://www.city.hirado.nagasaki.jp

平戸オランダ商館フォーラムと市民劇団公演を開催します

問 文化遺産課商館復元推進室 ☎内線2637

平戸オランダ商館の開館を前に、オランダから歴史建築の専門家を招き、「海外交流史と平戸オランダ商館」をテーマに、市内の有識者らとパネルディスカッションを行います。

また、昨年12月に『平戸恋しやバスツアー物語』を好演した市民劇団「いかづち」が、幕末のオランダ橋（幸橋）を舞台に、町娘おゆきと、平戸藩士菊四郎の恋模様を描いたラブロマンス劇『伝説・オランダ橋物語』を公演します。

平戸オランダ商館フォーラム

○**内　容**

・テーマ「海外交流史と平戸オランダ商館」

・講演　「商館復元に使った資料とその解釈」ラウレンス・フィス氏

・パネルディスカッション

・研究成果発表

劇団「いかづち」公演

○**内　容**

・公演「伝説・オランダ橋物語」

○**と　き**　12月12日（日）午後1時～午後4時30分

○**ところ**　北部公民館大ホール

○**入場料**　いずれも無料

県市町合同公売会in平戸を開催します

問 税務課滞納整理班 ☎内線2545

県内市町合同で、市税徴収のため差押動産の合同公売会を入札およびせり売り方式により開催します。

○**と　き**　12月19日（日）午前9時開場（午前8時30分受付）

○**ところ**　平戸文化センター大ホール

※軽自動車、農機具、家具、日用雑貨、液晶テレビなど約390点を出品予定です。

任意整理・過払金返還請求！
消費者金融等と約10年以上の取引がある方・消費者金融等の借金を完済した方は
相談無料
秘密厳守
西九州総合法律事務所
佐賀県弁護士会所属
弁護士 福田 大志
完済した方は自己負担金ゼロ！
取り戻した過払金の中から成功報酬をいただくのみです。
詳しくはお電話、またはブログをご覧下さい。
http://fukuda-hiroshi.seesaa.net/

要電話予約
☎0954-27-8056
受付／（月～金）9:00～12:00 13:00～18:00
佐賀県武雄市武雄町大字武雄5650-26

◎市役所各課へは代表番号（☎0950-22-4111）からお回しします

お知らせ INFORMATION

中山間地域等直接支払制度への加入について

問 農林課農務班 ☎内線2258

市では、中山間地域などの農業生産条件が不利な地域において5年以上農業を続けることを約束した農業者のみなさんへ、交付金を交付する「中山間地域等直接支払制度」を実施しています。

対象となるのは、傾斜要件などの一定の要件を満たす農用地で、「農業振興地域の整備に関する法律」の農用地指定区域内の農用地です。

来年度から新規加入を予定している農用地で、農用地指定区域に指定されていない農用地の場合、編入手続期間が4カ月程度必要となりますので、12月24日（金）までに農林課農務班へご相談ください。

平成22年工業統計調査にご協力を

問 企画課情報統計班 ☎内線2337

12月31日現在で製造業を営んでいる事業所を対象とした工業統計調査を実施します。12月から来年1月にかけて統計調査員が事業所を訪問します

この調査結果は、国や地方公共団体の施策の基礎資料として利用されるとともに、小・中・高等学校の教材など、広く利用されます。

募　集 INVITATION

平戸婚活のすすめVol．2
～イタリアンdeホットなめぐりあい～

申・問 企画課政策企画班 ☎内線2336

クリスマス直前、運命の出会いがあるかもしれない婚活イベント「平戸婚活のすすめvol．2」を開催します。

全員でイタリア料理を作って試食をした後、クリスマスパーティーを行います。

美味しい料理と楽しい会話で心温まる素敵な出会いを見つけませんか。

○**と　き**　12月19日（日）午後0時30分～

○**ところ**　北部公民館、カフェ・カロヨン

○**定　員**　男性10人　女性10人

※応募者多数の場合は抽選となります。

○**対象者**　20歳以上45歳以下の独身男女

○**参加費**　3，000円（材料費などを含む）

○**申込方法**　住所、氏名、生年月日、職業、電話番号、出身地、趣味、自己PRを記入の上、ハガキかFAX、またはEメールでご応募ください。

○**Eメール**
seisakukikaku@city.hirado.lg.jp

○**FAX**　22-5178

○**申込締切日**　12月10日（金）午後5時必着

乳児への育児用品貸出事業の第3期募集について

申・問 福祉課子育て支援班 ☎内線2575

乳児の健やかな成長を支援し、保護者の経済的負担の軽減を図るため、育児用品の貸出を行っています。

○**申請方法**　母子健康手帳持参の上、福祉課子育て支援班、または各支所市民協働課、各出張所に備え付けの申請用紙に必要事項を記入し、申請してください。

○**貸出用品と貸出期間**

・ベビーベッド　最長1年

・ベビースケール（体重計）1～3カ月

・ベビーバス　1～3カ月

※応募者多数の場合は抽選となります。

※育児用品は、福祉課子育て支援班にて受け取りとなります。

第3期申請

申請期間	12月1日（水）～12月20日（月）
対象者	平成23年1月1日～3月31日に赤ちゃんを出産予定の保護者
貸出日	12月28日以降
貸出台数	ベッド10台、バス5台、スケール（申込者全員）

好評の選べる鍋を4種類用意。お好きな鍋をチョイス！

① 海鮮鍋（寄せ鍋風）
② 山賊鍋（味噌仕立て）
③ 豆乳鍋（豆乳仕立て）
④ 鶏水炊き（牛乳仕立て）
お一人様 3,675円（税込）
各プラン共通 飲み放題プラン
しゃぶ鍋、鉢盛り、会席もご用意しています。
ビール・焼酎・日本酒・ソフトドリンク
Aコース 120分→2,500円（税込） 90分→2,000円（税込）
上記にプラス、ワイン・冷酒・酎ハイ
Bコース 120分→3,500円（税込） 90分→3,000円（税込）
各プラン共通特典
①入浴料無料
②平日割り
平日割り（日曜～木曜）ご利用の場合、料理代から5％OFF
平日昼割り（上記曜日の11時～13時開始）の場合、更に5％OFF
③ご宿泊特典（一泊朝食付）
1～3名様以上
割安価格でご提供いたします。
※除外日　12月30～1月3日
平戸海上ホテル
HIRADO KAIJYO HOTEL
〒859-5102 平戸市大久保町2231-3
お申込・お問合 TEL 0950-22-3800
http://www.hiradokaijyohotel.co.jp

◎市役所各課へは代表番号（☎0950-22-4111）からお回しします

高次脳機能障害支援のためのミニ講座とピアサポート相談会を開催します

問 県北保健所地域保健課 ☎57-3933

事故や脳卒中などで脳にダメージを受け、記憶・集中力の低下、感情の起伏が激しくなるなどの高次脳機能障害について、ミニ講座や個別相談会を開催します。

○**とき** 12月15日(水)
○**ところ** 平戸市社会福祉協議会
○**内容**
・ミニ講座 午後1時30分～午後2時30分
・個別相談 午後2時40分～午後5時
○**対象者**
・ミニ講座 市民
・個別相談 脳外傷などによる障害でお困りの人やその家族
○**個別相談申込先** 脳外傷「プラム」長崎 ☎0957-26-8118

第2回平戸検定試験と検定講習を開催します

問 NPO法人平戸観光ウェルカムガイド ☎090-5943-8753(浦部)

初級・中級の「平戸検定」と「検定講習会」を、次のとおり開催します。

市民のみなさんのご参加をお待ちしています。

平戸検定試験

○**とき** 平成23年2月13日(日)午前10時～(初級・90分)／午後2時～(中級・60分)
○**ところ** 北部公民館
○**受験料** 初級500円／中級1,000円(初級・中級同時申込も可能)
○**受験申込** 受験申し込み用紙に受験料をそえて、お申し込みください。受験票をお送りします。
○**申込先** 平戸観光ウェルカムガイド 平戸検定係 〒859-5152 鏡川町1020番地1-32、または観光物産振興課観光振興班窓口
○**申込期限** 平成23年1月13日(金)

平戸検定講習を行います

○**とき** 平成23年1月7日(土)、11日(火)、15日(土)、18日(火)、22日(土)、25日(火)、28日(金)、2月1日(火)、5日(土)、8日(火)の計10回。午後7時～午後9時
○**ところ** 北部公民館

「もっとステキなママになる！スキンケア&メイク講座」を開催します

問 平戸市母子寡婦福祉会母子部 ☎090-9480-7529(墨谷)

ひとり親家庭の女性を対象にスキンケアとメイク講座を開催します。

日ごろの忙しさを忘れてスキンケアとメイクで心を軽くしてみませんか。

○**とき** 平成23年2月4日(金)午後7時～午後9時
○**ところ** 平戸市文化センター
※保育室をご準備しています。

○**定員** 10人
※申込多数の場合は抽選を行います。
○**参加費** 無料
○**申込期限** 平成23年1月15日(土)
○**申込方法** お電話、またはEメールにてご応募ください。Eメールでお申し込みの場合は、住所、名前、ふりがな、年齢、電話番号と保育室利用を希望する場合は、お子さんの年齢を記入してください。
○**Eメール** boshibu@auone.jp

青少年絵画コンクールの開催と作品募集について

問 平戸ロータリークラブ ☎22-3131(平戸商工会議所内)

平戸ロータリークラブでは、子どもたちの素直な心、地域を思う心を養うことを目的に、青少年絵画コンクールと表彰式を開催し、その作品を募集します。

○**とき** 平成23年5月7日(土)
○**ところ** 平戸文化センター
○**対象者** 市内の小・中学生
○**テーマ** 「私が住みたい50年後の平戸」
○**表彰**
・金賞3点 賞品 電子辞書
・入選15点 図書券3,000円
○**応募方法** 作品に応募者の氏名、年齢、住所、連絡先を明記の上、平戸商工会議所内事務局まで持参するか郵送してください。郵送する場合、送料は自己負担となりますので、ご了承ください。
○**応募期限** 平成23年1月29日(金)

提案中 貴方だけのシャンプー
メンズ&レディース hair salon イワミヤ

募集!! 理美容師 一緒に働いてみませんか
TEL.22-3412
平戸市職人町235

きでら耳鼻咽喉科医院

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～13:00	○	○	○ ～14:00	○	○	○ ～14:00
15:00～19:00	○	○	－	○	○	－
休診日	日曜・祝日					

〒859-5113 平戸市木引田町414番(きでら薬局2階)
TEL:0950-23-8733 FAX:0950-23-8739

元気なよい子に誕生

氏名	保護者	行政区
【平戸地区】		
三輪 笙太	浩孝	紐差第1
松永 尚道	初	猪渡谷
山野 力哉	幸司	赤坂
坂野 守海	雄紀	梅崎
松尾 椛那	幸成	堤
里村 玲音	累二	堤
鴨川 友誠	友司	清水川
寺田 美月	光児	坊方
藤谷 隼	孝行	稗田
薄本 未歩	豊路	紐差第2
川口 季千花	京一	紐差第4
上尾 剛輝	清剛	曲り
大島 蓮	さやか	木引
慶次郎	太郎	田原崎
千葉 菜々美	洋樹	下中野
【生月地区】		
塚本 恭也	吉弘	舘浦潮見
橋岡 新	郁文	堺目
【田平地区】		
朝永 光	博	米の内
山口 奏	奈津美	野田
中島 蒼嵐	史善	万場

ご冥福をお祈りします

氏名	年齢	死亡日	行政区
【平戸地区】			
本岡 アヤ子	81歳	10／16	度島中部
神田 ナオ	93歳	10／19	田の浦
寺山 愛子	85歳	10／21	宮の町
須藤 光子	84歳	10／22	猪渡谷
濵崎 美雪	49歳	10／22	木ケ津第1
木村 二三子	78歳	10／23	前津吉浦
里崎 春男	73歳	10／25	早福
安永 ジツ	94歳	10／26	大志々伎
川上 米四郎	92歳	10／27	宝亀第3
出口 民子	89歳	10／29	主師
山口 ハナ	98歳	10／29	敷佐
松永 田鶴子	73歳	10／30	薄香浦
田崎 幸一	81歳	10／30	川内在
大浦 コメ	87歳	10／30	上大垣
山浦 輝夫	79歳	10／30	高越
末永 静子	89歳	11／1	戸石川
林田 久米男	86歳	11／1	下中津良
中島 博	76歳	11／1	木引田町
大石 かよ子	59歳	11／2	山中
瀬戸口 トセ	86歳	11／2	獅子第4
小島 二雄	79歳	11／4	曲り
浦屋 志穂美	19歳	11／4	古江
納 藤七	95歳	11／6	宮の浦
遠藤 初雄	80歳	11／7	大川原
小田 文弘	45歳	11／9	肥
杉山 隆子	55歳	11／10	清水川
前川 淺之	80歳	11／11	紐差第1
【田平地区】			
西 かず子	56歳	10／15	上里
森崎 かおる	40歳	10／21	西荻田
山田 泉	73歳	10／22	深月
永井 ワキ	97歳	10／23	下寺
稲澤 次枝	95歳	10／26	上里
松瀬 量三	42歳	10／30	生向
山本 スマ	87歳	10／31	平戸口
山口 清	59歳	10／31	福崎
大浦 篤	81歳	11／2	永久保
宮木 嘉太郎	73歳	11／2	釜田
浦瀬 シヅエ	93歳	11／4	深月
山田 八重子	84歳	11／7	坊田
髙野 ナミ子	85歳	11／8	小手田
【大島地区】			
小濱 ミヨ子	76歳	10／17	大根坂
岩井 廣義	59歳	10／20	大根坂
中村 若喜	73歳	10／21	的山浦
川久保 秀男	87歳	10／24	大根坂
池口 儀重	79歳	10／30	前平
田島 虎吉	82歳	11／12	大根坂

（10／16～11／15受付分）

■「やらんば！平戸」応援寄付金

○佐賀県伊万里市 立石 純生
○千葉県市川市 堺 忠弘
○千葉県市原市 加藤 澄敏
○栃木県宇都宮市 藤屋 元啓 2万円
○東京都 早田
○神奈川県相模原市 吉居 浩二 5万円
○茨城県つくば市 田渕 豊
○千葉県我孫子市 増山 義也
○神奈川県横浜市 牟田部広之 1万円
○森川 英正
○匿名希望 5名

平成22年11月16日現在
19件 493,000円
ご協力ありがとうございました。

■10月の交通事故

件数	69件（71件）
死者	0名（0名）
負傷者	94名（84名）

（重傷）11名（軽傷）83名

■10月末までの火災救急件数

火災	23件（22件）
救急	1,311件（1,185件）

（ ）内は昨年同期

年賀状印刷
ご注文は、電話、FAXで・・・
平成23年カレンダープレゼント
30枚まで、料金2,410円～、平戸市街地は配達します。
KENHOKU PRINT DESIGN & PRINTING
有限会社 ケンホクプリント
長崎県平戸市鏡川町1308
TEL 0950-22-3878
FAX 0950-26-0045

想いをかたちに…
故人と語らい、自分を見つめ直す…
お墓は大切な家族の記念碑です。
墓石・記念碑・設計～施工
有限会社 松永石碑店
〒859-5704
長崎県平戸市生月町山田免2331
TEL 0950－53－2816